

第102回 維持管理研究会 議事録

1. 開催日時 : 2019年12月12日(火)15:30~18:00
2. 場 所 : キオクシア株式会社 会議室
3. 出席者(敬称略) 15名
小田、井上、大塚、金子(幸)、國貞、坂本、澤田、柴田、守護、永田、柳谷、中谷(記)
ゲスト:(キオクシア)長谷川、富塚、(SGH)藤井
4. 研究テーマ
職場単位で、短時間で簡単に行なえる訓練手法を実践し、組織能力向上を養う。
訓練実践(少人数のワークショップ形式)
 - ・参加者が想定されるインシデントを考える
 - ・インシデントは「くじ引き」で選択する
 - ・対応策や行動案について検討する(本社被災、工場被災、店舗被災等を想定)～ くじ引き演習(抜粋)～
 - ①くじ引き演習の特徴
 - ・演習準備が不要(紙とホワイトボードだけ)
 - ・要領を覚えれば、誰でも比較的簡単に演習が可能
 - ・演習時間が短い
 - ・演習成果をまとめれば、マニュアルとして活用が可能
→結果事象型マニュアルとは方向性が異なりますが・・・
 - ②くじ引き演習の概要(実際にやること)
 - ・参加者がくじを作る→ 箱に入れる
 - ・代表者がくじ(事象)を引く
 - ・実現したいこと(目的)を確認する
 - ・何をするかをホワイトボードに書き出す(5分程度)
 - ・ホワイトボードの内容をまとめる
 - ・その場で演習を振り返る
 - ③くじ引き演習で留意すること
 - ・参加人数は3名以上~5名以下(大人数の時はチーム分けする)
 - ・演習は立ったまま行うこと
 - ・疑問点や想定しなければいけない事(・・・かも知れない)は、確認事項として残します
 - ・記録はメモ程度でOK
 - ・決定事項
 - ・改善事項
 - ・要検討事項
5. 感想
 - ・初動対応の検討(個人検討⇒グループ討議)及び検討用フォーマットは、今後の訓練で実践していくのに役立ちます。
 - ・少人数訓練は、簡単に実施できるので、早速計画を立て実践します。
 - ・自分自身で訓練体験したので、会社内でも自信を持って訓練できると思います。

<初動対応サンプル>

状況付与票 & 検討シート		状況付与票 & 検討シート	
訓練内の想定時期	12月12日 18時00分	訓練内の想定時期	12月12日 16時30分
状況・発元	従業員の帰宅判断	状況・発元	自傷者の対応
インシデント内容	<ul style="list-style-type: none"> 総務部のYさん(35歳女性)に、保育園(大田区蒲田)から連絡があり、お子様(3歳男児)が大ケガをして大森総合病院へ搬送され、至急病院へ来て欲しいとのこと。Yさんは帰宅を強く希望しています。 経理部のZさん(50歳男性)から自宅(松戸市)が壊れて奥さんが大怪我して動けないとLINE連絡があり至急帰りたいとのこと。帰るための良い方法はないでしょうか？ 従業員から、「ニュースを見て、我が家の地域の火災が激しい、帰りたいと言っています」帰りたいと行っている社員の居住地 W:江東区豊洲 X:中野区野方 Y:川崎市中原区 Z:品川区五反田(派遣社員) 	インシデント内容	<ul style="list-style-type: none"> 製造部のEさん(25歳男性)が、工場内で左足首を骨折して歩行困難な状態です。 製品検査係の派遣社員Gさん(30歳女性)が、装置に頭をぶつけ、顔面から流血していますが、歩行はできます。 総務部への訪問客(取引先F社のWさん)が、倒れた書棚で頭を強く打ち意識が朦朧としています。脈がかなり遅くなっています。 救急箱は備えてあり、担架も1つあります。 AEDは設置していますが、使い方の訓練はしていません。
対応(情報収集)	<p>(収集すべき情報を洗い出し整理・分析して下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員帰宅に関する情報 要帰宅希望者の確認 ⇒緊急性の判断、自宅の場所 ⇒近隣在住者の確認 ⇒帰宅ルートの確認 	対応(情報収集)	<p>(収集すべき情報を洗い出し整理・分析して下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務社内の危険箇所の有無 自傷者の対応と重症度の判定 ⇒トリアージ(緑・黄・赤・黒) 社内(ビルを含む)の医療関係者の確認 重症者の対応 ⇒搬送の搬送方法や医療機関への搬送ルートなど 搬送手段の検討 ⇒徒歩、リヤカー、車イス、自転車、社有車など
社内		社内	
社会	<p>(収集すべき情報を洗い出し整理・分析して下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関 道路情報 ⇒帰宅ルートの安全性確認 一時滞在施設 小売、スーパー 自治体の避難所運営状況 	社会	<p>(収集すべき情報を洗い出し整理・分析して下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急車の手配 医療機関の稼働状況 近隣の状況 ⇒建物火災、道路被災状況 近隣周辺の最新情報
やるべき行動	<p>(収集した情報に基づき、対応すべきことを洗い出し優先順位をつけて下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 要帰宅者の判断 ⇒距離、時間、天候など 帰宅手段の選定 ⇒公共交通機関、徒歩、自転車、バイク、社有車(自家用車) 帰宅者の持参品 ⇒水・食料、懐中電灯、ラジオ、運動靴、リュック 複数人同時帰宅の推進 帰宅者管理台帳に記載、及び注意事項説明 帰宅者の進捗管理 <p>※やむを得ず一時帰宅が必要な従業員は、責任者の指示に従って行動させること。 ⇒帰宅ルートの道路事情、帰宅場所などを鑑みて、最善の方法を検討する。 (帰宅手段:社有車活用、自転車、バイク、徒歩など) ⇒帰宅ルートの道路事情を十分に吟味すること。 ⇒防犯上できる限り複数人で帰宅させることが望ましい。 ⇒注意事項を説明のうえ、帰宅者管理台帳に記入させて帰宅させる。</p>	やるべき行動	<p>(収集した情報に基づき、対応すべきことを洗い出し優先順位をつけて下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 応急処置場所 救命救護用品の準備 看護師の手配(在籍の場合) トリアージ(搬送優先順位の判断) 医療機関への搬送 ⇒搬送時期、搬送可否の判断 ⇒搬送者の確保 重傷者家族へ連絡 ⇒病院立会い、経過状況 <p>※自傷者を安全な場所に集めて応急処置を行う。 ⇒看護師と相談し、重傷者から優先的に対応させる。 ※重症度に応じた医療機関への搬送を指示する。 ⇒搬送方法(誰が、どのようにして)や必要な備品などを検討し、最適な手段を選択する。 ⇒搬送順番については、拠点全体で調整すること。 ※病院への搬送は、病院稼働や道路事情の下見後に実施する。 なお搬送については、余震も想定されるので、少し落ち着いてから搬送する。</p>
事前に準備すべきも	<ul style="list-style-type: none"> 帰宅者用備品 ⇒水・食料、懐中電灯、運動靴、リュック、ヘルメットなど 連絡用ツール ⇒171、Web171、各種SNSを活用し家族間での通信確認 自転車、バイク 帰宅者管理台帳 	事前に準備すべきもの	<ul style="list-style-type: none"> 救命救護用品 担架 近隣医療機関リスト 周辺地図